

江戸東京博物館と横浜開港資料館でお披露目

保命酒関連商品を展示・販売

備後特産
研究会
ペリー、ハリスの特別展で

鞆の浦名産の保命酒など備後の特産品の普及に尽力している備後特産研究会(福山市御船町1-13-5・柳中島商店内、中島基晴会長、電084・9222・4870)は、ペリーやハリス関係の特別展を開催している江戸東京博物館(東京都墨田区)と横浜開港資料館(横浜市中区)から依頼され、保命酒(榎岡本亀太郎本店)福山市鞆町(醸造)の関連商品を両施設の売店で展示・販売。5月中旬に両会場をPR活動に訪れた中島会長は「写真」によると、両施設とも来場者に好評で売れ

行きは上々だったという。

江戸東京博物館では「ペリー&ハリス・泰平の眼りを目覚ました男たち」(6月22日(日)まで)、横浜開港資料館では「ハリスと横浜」展(7月27日(日)まで)をそれぞれ開催中。福山藩主で幕府老中首座の阿部正弘がペリー提督やハリス総領事に保命酒を接待酒として振る舞った、という史実を知った両施設から中島会長にオファーがあった。東京では保命酒のほか「保命玉」(鮎)、「保命酒タイ焼き」、横浜では「保命玉」を販売している。

また、中島会長は5月16日―18日に静岡県下田市で開かれたペリーゆかりの「黒船祭」でも保命酒関連の商品販売と福山のPR活動を展開し、手応えを感じたという。

中小機構から「R i」への出展依頼

さらに、岡本亀太郎本店に、
独立行政法人・中小企業基盤

整備機構(中小機構(本部・東京)から同機構が運営する地域資源テストマーケティング・ショップ「Rin」(東京・表参道)への出展依頼があり、保命酒を7月4日(金)―6日(日)、18日(金)―20日(日)に同ショップで展示・販売する。中島会長は保命酒と福山及び備後のPR活動のため、期間中に上京する予定